



2023年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 澁谷工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6340 URL <https://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 英利

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉道 義明

TEL 076-262-1201

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

2023年3月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	43,633	1.8	2,653	52.7	2,618	54.5	2,008	50.2
2022年6月期第2四半期	42,860	4.2	5,608	58.2	5,758	58.0	4,031	61.7

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 2,071百万円 (50.6%) 2022年6月期第2四半期 4,192百万円 (55.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	72.61	
2022年6月期第2四半期	145.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期第2四半期	142,284	86,389	60.7	3,122.24
2022年6月期	136,981	85,425	62.4	3,087.39

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 86,383百万円 2022年6月期 85,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		30.00		40.00	70.00
2023年6月期		30.00			
2023年6月期(予想)				40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	3.9	7,050	47.4	7,100	48.2	5,030	45.7	181.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期2Q	28,149,877 株	2022年6月期	28,149,877 株
期末自己株式数	2023年6月期2Q	482,699 株	2022年6月期	482,691 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期2Q	27,667,179 株	2022年6月期2Q	27,667,346 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和され、経済活動に回復の動きが見られたものの、急激な円安の進行、原材料価格の高騰や半導体・電子部品等の長納期化もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は436億33百万円（前年同期比1.8%増）となりましたが、損益面については、全てのセグメントで減益となったことから、営業利益は26億53百万円（前年同期比52.7%減）、経常利益は26億18百万円（前年同期比54.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億8百万円（前年同期比50.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[セグメント別の売上高]

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	22,586	24,910	+10.3
（酒類用プラント）	(1,568)	(1,370)	(△12.6)
（食品用プラント）	(12,677)	(15,203)	(+19.9)
（薬品・化粧品用プラント）	(7,835)	(7,285)	(△7.0)
（その他）	(504)	(1,051)	(+108.5)
メカトロシステム事業	12,575	14,566	+15.8
農業用設備事業	7,698	4,157	△46.0
合 計	42,860	43,633	+1.8

(パッケージングプラント事業)

パッケージングプラント事業の売上高は、酒類用プラントは大型ラインが少なかったこと、また薬品・化粧品用プラントはコロナ禍を背景とした消毒剤などの充填ラインのリピー需要が落ち着いてきたことから減少したものの、食品用プラントは国内向けおよび海外向けとも飲料用無菌充填ラインや炭酸水充填ラインが増加したことから、前年同期に比べ増加しました。

その結果、売上高は249億10百万円（前年同期比10.3%増）となりましたが、損益面については、原材料の価格上昇が継続する中、一部の海外向け大型プラントで欧州の競合メーカーとの熾烈な価格競争が生じたことから、営業利益は25億13百万円（前年同期比42.9%減）となりました。

(メカトロシステム事業)

メカトロシステム事業の売上高は、半導体製造装置は中国向けが同国内のゼロコロナ政策による経済停滞により減少したものの、医療機器は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んでいたインド・欧州・韓国・台湾などの海外向けが回復したことから、前年同期に比べ増加しました。

その結果、売上高は145億66百万円（前年同期比15.8%増）となりましたが、損益面については、付加価値の高い半導体製造装置の販売割合が減少したことから、営業利益は9億57百万円（前年同期比12.8%減）となりました。

(農業用設備事業)

農業用設備事業の売上高は、柑橘類向け選果選別プラントにおいて大型プラントの設備更新が一巡したことから、前年同期に比べ大きく減少しました。

その結果、売上高は41億57百万円（前年同期比46.0%減）、営業利益は1億89百万円（前年同期比85.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ53億3百万円増加し、1,422億84百万円となりました。有利子負債については、前連結会計年度末に比べ36億40百万円増加し、61億73百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べ9億64百万円増加し863億89百万円となり、自己資本比率は60.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、44億97百万円の資金増加（前年同期は42億17百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が25億99百万円となり、棚卸資産の増加額32億73百万円、未払金及び未払費用の減少額18億74百万円および法人税等の支払額22億60百万円による資金減少があったものの、非資金項目である減価償却費14億69百万円、売上債権及び契約資産の減少額64億38百万円による資金増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億31百万円の資金減少（前年同期は5億82百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が10億48百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、25億24百万円の資金増加（前年同期は17億62百万円の資金減少）となりました。これは主に、設備資金の新規借入による資金増加が41億円あったこと、また配当金の支払による資金減少が11億5百万円あったことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より61億7百万円増加し478億99百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月12日に公表した連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	102,000	8,800	9,000	6,400	231.32
今回修正予想 (B)	100,000	7,050	7,100	5,030	181.80
増減額 (B-A)	△2,000	△1,750	△1,900	△1,370	—
増減率 (%)	△2.0	△19.9	△21.1	△21.4	—
(ご参考) 前期実績 (2022年6月期)	96,223	13,402	13,701	9,262	334.79

売上高は、半導体製造装置において中国のゼロコロナ政策による経済活動の停滞が影響し、また、農業用設備事業において客先工場の工期遅れにより大型案件の工事進捗率の低下が見込まれることから、前回予想を下回るものと見込んでおります。

また利益面では、原材料やエネルギー価格の高騰に加えて、パッケージングプラント事業において一部の海外向け大型プラントで採算割れが生じたこと、メカトロシステム事業において付加価値の高い半導体製造装置の販売割合が減少すること、また、農業用設備事業において操業度の低下により固定費負担が高まることから、前回予想を下回るものと見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,080	48,581
受取手形、売掛金及び契約資産	26,600	19,435
電子記録債権	7,674	8,407
製品	599	1,206
仕掛品	9,114	10,861
原材料及び貯蔵品	3,492	4,402
その他	3,173	2,415
貸倒引当金	△5	△2
流動資産合計	92,731	95,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,145	21,555
機械装置及び運搬具(純額)	1,909	3,301
土地	12,757	12,137
建設仮勘定	3,981	1,058
その他(純額)	1,354	1,532
有形固定資産合計	37,148	39,585
無形固定資産		
のれん	0	0
その他	449	471
無形固定資産合計	449	471
投資その他の資産		
投資有価証券	2,206	2,367
退職給付に係る資産	2,732	2,770
繰延税金資産	1,238	1,311
その他	504	520
貸倒引当金	△30	△49
投資その他の資産合計	6,651	6,920
固定資産合計	44,250	46,976
資産合計	136,981	142,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,333	19,953
電子記録債務	2,959	3,207
短期借入金	900	1,090
未払法人税等	2,337	779
未払費用	5,444	3,641
契約負債	8,600	8,877
賞与引当金	431	436
受注損失引当金	55	341
製品保証引当金	65	60
その他	1,714	5,522
流動負債合計	42,842	43,911
固定負債		
長期借入金	1,632	5,082
退職給付に係る負債	6,472	6,414
役員退職慰労引当金	409	290
繰延税金負債	79	83
その他	119	112
固定負債合計	8,713	11,983
負債合計	51,555	55,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,350	10,350
利益剰余金	63,459	64,361
自己株式	△440	△440
株主資本合計	84,762	85,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	502	642
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	647	525
退職給付に係る調整累計額	△493	△447
その他の包括利益累計額合計	657	719
非支配株主持分	6	6
純資産合計	85,425	86,389
負債純資産合計	136,981	142,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	42,860	43,633
売上原価	31,936	35,898
売上総利益	10,924	7,735
販売費及び一般管理費	5,316	5,082
営業利益	5,608	2,653
営業外収益		
受取利息	0	4
受取配当金	22	25
為替差益	39	—
スクラップ売却益	32	16
その他	81	36
営業外収益合計	175	84
営業外費用		
支払利息	10	17
為替差損	—	86
保険解約損	8	—
その他	7	14
営業外費用合計	26	118
経常利益	5,758	2,618
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	20	0
施設利用権売却益	—	4
特別利益合計	21	9
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産処分損	0	2
損害賠償金	—	25
特別損失合計	3	28
税金等調整前四半期純利益	5,776	2,599
法人税、住民税及び事業税	1,757	706
法人税等調整額	△20	△116
法人税等合計	1,737	589
四半期純利益	4,039	2,009
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,031	2,008

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,039	2,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	139
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	98	△122
退職給付に係る調整額	59	46
その他の包括利益合計	152	61
四半期包括利益	4,192	2,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,184	2,070
非支配株主に係る四半期包括利益	8	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,776	2,599
減価償却費	1,214	1,469
のれん償却額	68	0
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	24	11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9	△41
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	△118
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	5
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△23	286
受取利息及び受取配当金	△23	△30
支払利息	10	17
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	6,520	6,438
契約負債の増減額 (△は減少)	△55	321
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△910	△3,273
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,802	△130
前渡金の増減額 (△は増加)	△401	△6
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△2,521	△1,874
未払又は未収消費税等の増減額	△1,586	301
その他	525	746
小計	6,825	6,739
利息及び配当金の受取額	23	30
利息の支払額	△10	△12
法人税等の支払額	△2,620	△2,260
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,217	4,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△209	△556
定期預金の払戻による収入	203	136
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	164	5
有形固定資産の取得による支出	△902	△1,048
有形固定資産の売却による収入	9	706
無形固定資産の取得による支出	△95	△60
その他	249	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△582	△831
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	4,100
長期借入金の返済による支出	△643	△459
配当金の支払額	△1,106	△1,105
その他	△12	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,762	2,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	59	△81
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,932	6,107
現金及び現金同等物の期首残高	35,292	41,792
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,224	47,899

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社および国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、単体納税制度よりグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税および地方法人税ならびに税効果会計の会計処理および開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	パッケージ ングプラン ト事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,586	12,575	7,698	42,860	—	42,860
セグメント間の内部売上高 又は振替高	565	284	76	926	△926	—
計	23,152	12,859	7,775	43,787	△926	42,860
セグメント利益	4,398	1,098	1,302	6,798	△1,190	5,608

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,190百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,139百万円および棚卸資産等の調整額△50百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	パッケージ ングプラン ト事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,910	14,566	4,157	43,633	—	43,633
セグメント間の内部売上高 又は振替高	777	242	276	1,296	△1,296	—
計	25,687	14,808	4,434	44,929	△1,296	43,633
セグメント利益	2,513	957	189	3,660	△1,007	2,653

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,007百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△982百万円および棚卸資産等の調整額△25百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

3. その他

受注の状況

① セグメント別の受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	25,282	39,716	+57.1
(酒類用プラント)	(1,417)	(1,987)	(+40.2)
(食品用プラント)	(18,080)	(29,500)	(+63.2)
(薬品・化粧品用プラント)	(4,877)	(6,205)	(+27.2)
(その他)	(907)	(2,022)	(+122.9)
メカトロシステム事業	16,043	14,855	△7.4
農業用設備事業	8,475	4,181	△50.7
合 計	49,800	58,752	+18.0

② セグメント別の受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結会計期間 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)	前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	37,470	55,628	+48.5
(酒類用プラント)	(1,408)	(2,137)	(+51.7)
(食品用プラント)	(20,994)	(37,406)	(+78.2)
(薬品・化粧品用プラント)	(14,095)	(14,193)	(+0.7)
(その他)	(972)	(1,890)	(+94.4)
メカトロシステム事業	11,832	10,647	△10.0
農業用設備事業	7,854	8,791	+11.9
合 計	57,158	75,067	+31.3